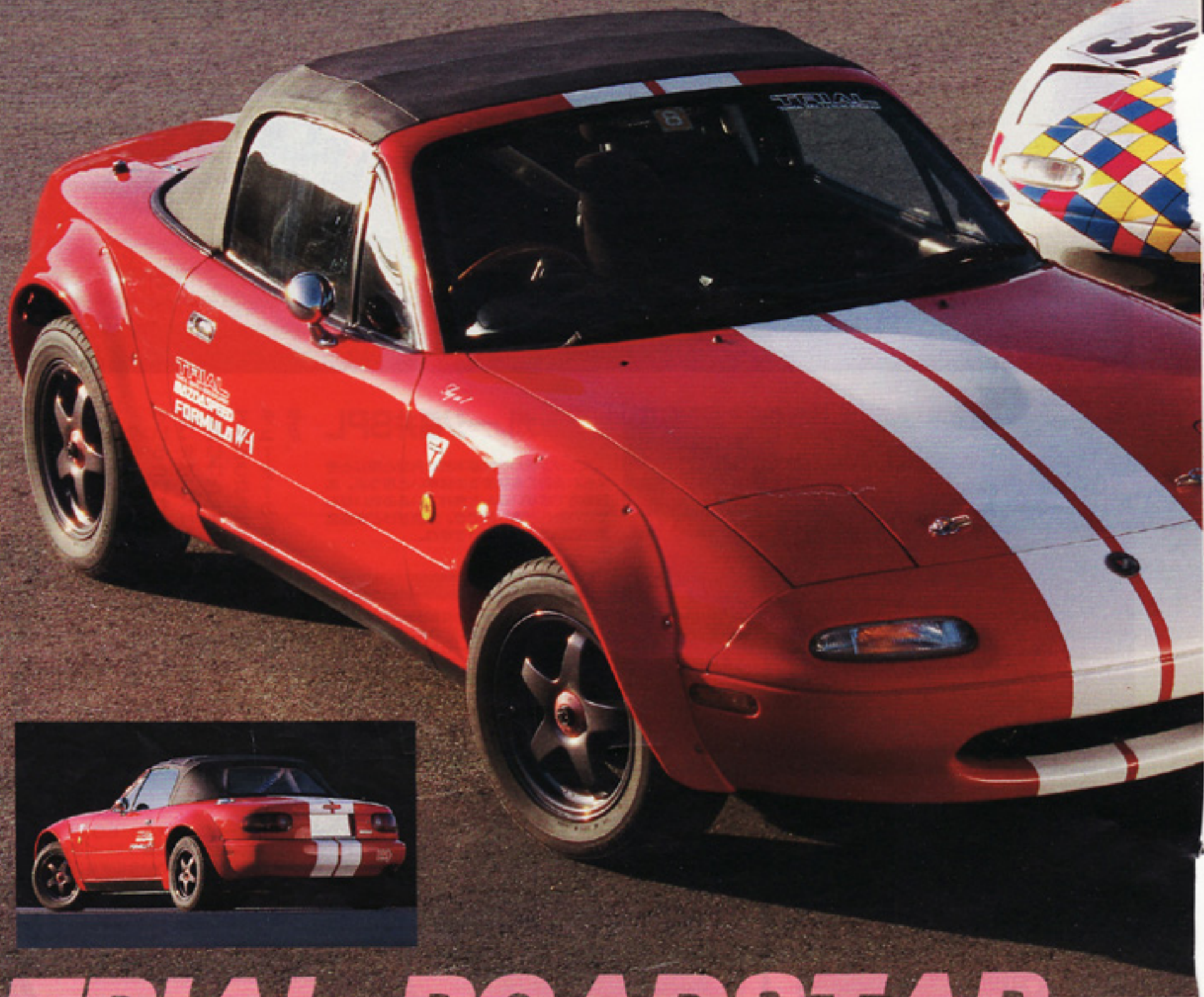


# TUNING NEW WORLD

チューニングニューワールド



アップし、ロールバーの装着でオープンボディの剛性不足というハンデも克服している。

エンジンはクルマの性格も考えて、大幅なパワーアップは狙っていないけど、4A-Gピストンを使ったボアアップとIN・EXとも264度のハイカム、スポーツインジェクションなど、ひと通りのメカチューンを施すことで驚くほどのフィーリングアップがはかられている。

このクラスのクルマは排気量の大きなターボ車と違ってパワーやトルクでグイグイといくよりも、いかにその気にさせる、気持ちのいいエンジンに仕上げようか、ということがポイントだ。NAのメカチューンならでは、ハイレスポンスで高回転までストレスなく吹け上がる、こんなエンジンに仕上げるのが大切なんだ。

エンジンフィールと同時にこだわりたいのが足まわり。コンバクトなボディを活かしてタイトコーナーをキビキビと走り抜けてやる感じだ。選ばれたパーツはオーリンズのショックとティンのスプリング。このところ定番になりつつあるパーツだけに実力、信頼性ともに◎。サーキットやタイトな峠ではハイパワーターボ車に負けないポテンシャルを発揮できるはずだ。

もともと“走り”を重点においてチューニングされたわけだけど、仕上がってみればはよりのフルエアロとはひと味もふた味も違った違和感のない迫力のあるフォルムに変身。

ロードスターって不思議な魅力をもったクルマだよな。

## TRIAL ROADSTAR

1954A OPT2